

問題啓発強調月間です

お知らせ

多久市では、この期間に各種啓発活動を集中的に行い、差別をなくす運動を展開します。

偏見や差別を許さない
正しい理解を深めることで
意識が変わる
行動が社会を変える

えせ同和行為を排除しよう！

同和問題の解決をめざす団体であるかのように名乗り、それを口実に、企業や個人、行政機関などに対して、不法・不当なことを要求したり、押し付けたりする行為のことを「えせ同和行為」といいます。

このような行為は、同和問題に対する誤った認識を植え付け、偏見や差別意識を助長する大きな要因となっています。こうした行為は断固許してはなりません。

同和問題とは？

同和地区出身者であることやそこに住んでいることを理由に、日常生活で様々な差別を受けるという、日本固有の人権問題です。本人にはどうすることもできないことで、基本的人権が不当に侵害されるという深刻な社会問題です。

今、どのような差別があるの？

情報化が進み、インターネット上での差別的な情報の拡散が大きな問題となっています。

県内では、同和地区の情報を記載した「部落地名総鑑」の復刻版をダウンロードし、インターネットのフリーマーケットで販売する事件がありました。

そのほかにも、同和地区の問い合わせや結婚相手の身元調査、就職差別、不動産購入における土地差別、えせ同和行為などといった差別事件が起きています。

同和問題に関する情報は、法務省や県、市のホームページを検索！



同和問題を学ぶのはなぜ？

「そっとしておけば同和問題は自然になくなるのでは・・・」という人がいます。しかし、そっとしておくと、偏見や誤った認識がいつまでも伝えられ、繰り返し差別を生み出していくことになります。

私たち一人ひとりが、同和問題を正しく理解し、認識することが差別の解消につながります。また、差別は見ようとしなければ見えません。自分が知らないから差別は無いと考えず、差別がどこに隠されているのかを見抜く力を身につけることが大切です。

問 人権・同和対策課 ☎75-4824